

## 第19回 FMくらら857放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成30年11月27日(火) 午前11時00分～11時54分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8名

出席委員数 6名

### ■出席委員(敬称略)

茅原 剛 会長(栃木市総合政策部長)

岸 英 司 副会長(栃木市商工会議所事務局長 管理課長)

癸生川 亘 委員(代理出席:栃木市産業振興部 観光振興課長)

池田 正 委員(栃木警察署長)

大橋 良久 委員(下野農業協同組合企画総務部長)

堀江 貴 浩 委員(栃木青年会議所理事長)

### ■放送事業者側出席者

高田 光 浩 (ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長)

木村 嘉 孝 (コンテンツ部課長)

宇賀 神 仁 (コンテンツ部 FMグループ主任)

高橋 友 莉 香 (コンテンツ部 FMグループ)

4. 報告事項

事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について、各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答した。

5. 議事

① 10月21日(日) 8時00分～11時40分(抜粋、約10分)

サテライト放送「栃木市総合防災訓練」

(事務局)「栃木市総合防災訓練」が行われた西方総合文化体育館の駐車場に放送ブース(簡易型スタジオ)を設置して放送。災害対策本部長を務めた大川秀子市長をはじめ、危機管理官、消防本部消防長のほか、

防災訓練に参加した企業・団体、さらには地域住民の方へのインタビューなども交えて放送。

- (委員) 緊張感がある放送だったが、明るく聞きやすかった。皆が楽しみながら参加している様子が分かった。消火器・ガスボンベなどが必要だという注意喚起などされたのが良かった。参加者は市内の人がほとんどなので、市内のどこから来たのか紹介できると良かった。
- (委員) 興味がある内容で、非常に聞きやすかった。二組にインタビューしていたが、どちらも消火器がないと言っていたのに対し、パーソナリティが指摘できていたので良かった。
- (委員) 現地でサテライトブースがあり、参加者の率直な話がインタビューで聞けて良かった。3時間40分ぐらいやった中の最後の方だと思うが、まとめがインタビューの話に引っ張られてしまい、防災訓練のまとめの話が薄くなっていた。もう少しそちらに重点を置いても良いのではないか。
- (委員) インタビューと回答がすこしずれがあったが、ブースでフォローができていた。最終的にはまとまっていたのではないかなと思う。
- (委員) 抜粋だったのを初めて知った。聞いた内容が最後だからだとは思うが、途中から聞いた人が、どれぐらいの人が来てどんなことが行われていたのかは分かりづらいと思う。楽しい放送になったが、メッセージ、肝になる部分を最後にもう少し伝えとさらによくなったと思う。
- (委員) 長時間の抜粋なので全体が分かりづらいと思うが、実際に聞いている人も同じだと思う。途中から聞いた人にも今の状況や臨場感を伝えることが大切なのではないかなと思った。最初のインタビューの時にもう少し突っ込んだ質問をしたら盛り上がったのではないかな。楽しいという感想を聞いたが、緊張感も必要だが楽しんでもらう事も必要なので、そこを伝えられて良かった。
- (事務局) 議題2つとも長時間番組の一部だった。番組冒頭では防災訓練の趣旨などを伝えたが、締めの話についてご指摘頂いたように、全体の構成が甘かった部分もあった。途中から聞いたとしても分かりやすい構成を検討していきたい。参加者のインタビューについても、事前の打ち合わせなどを徹底して、より良い放送を心掛けていきたい。

② 11月9日(金)～11日(日)9時00分～21時00分

(抜粋、初日のこども山車まつりのレポート約10分)

特別番組「とちぎ秋まつり」

- (事務局) 3日間にわたって行われた「とちぎ秋まつり」の模様を、コエドスタジオを中心に、お囃子やぶっつけ、さらには関連の行事などが行われている、まつりの会場のあちこちからリポーターが中継を入れ、現場の模様を臨場感たっぷりに放送。
- (委員) 雨の中、子ども達や校長先生のインタビューを聞き、今回はブースが無かったせいなのか、インタビュー側の声が割れてしまい聞きづらい部分があった。特にボリュームを大きくすると聞きづらい。
- (委員) にぎやかさ、臨場感、興奮している様子が伝わってきた。ただ、にぎやかさしか伝わってこなかったのもう少し具体的に話しをしてもらえると良かったのではないかと思った。
- (委員) 子供の話し、校長先生の話がきけて、地元のお祭りを伝えることとしては良いのではないかと思う。やるべき効果はあったのでは。
- (委員) 生中継という点では、走り回っていた様子が分かる。ライブ感が伝わってきた。聞きづらいという反面、アナウンサーの興奮した様子などが伝わってきた点では良かったと思う。
- (事務局) 音声について。電話回線を使用してスタジオと繋いでいる。電話回線の特徴ではあるが、人によって聞き取りやすい・辛が出てきてしまうのは技術面の問題でもあるので、指導をしていきたい。

### ③その他

- (委員) マガジンについて、加盟店に置いてあるのだろうか。お店に行ったら別のマガジンが置いてあったので、
- (事務局) 加盟店を中心に置いている。集客率の高い所には随時置かせていただけのように、場所を広げていきたい。
- (委員) 年末年始の特番について、企画はあるのか。
- (事務局) 社内で検討中。年越しなど企画をやりたいと思っている。早めに伝えられるように進めていく。去年と同じ体制で生放送の部分を延長するなどして放送していきたい。

## 6. 審議機関の答申又は概要の公表

FM くらら 857 ホームページに掲載 (平成 30 年 12 月掲載)

### ■次回の日程開催

平成 31 年 1 月 29 日 (火) 午前 11 時予定